

【講師紹介】

内山 節（うちやま たかし）

哲学者。立教大学大学院教授、特定非営利活動法人森づくりフォーラム代表理事。存在論、労働論、自然哲学、時間論において独自の思想を展開する。1970年代から現在でも、東京と群馬県上野村との往復生活を続けている。上野村では畑を耕し、森を歩きながら暮らしている。

小澤 祥司（おざわ しょうじ） 環境ジャーナリスト・西多摩自然フォーラム・東京

静岡県出身、東京大学卒業。80年代より出版社勤務の傍らサンゴ礁保全ボランティア活動に参加。90年代からは自然環境教育・再生可能エネルギーの普及などを専門に活動。宇都宮大学大学院非常勤講師、東京都自然環境保全審議会都民代表委員、日本大学生物資源科学部非常勤講師を歴任。東日本大震災以降は、福島第一原発事故による汚染に見舞われた福島県飯館村民の支援活動、放射能汚染調査に加わる。

小早川 喬（こばやか わたかし） 飯館村 / 福島再生支援東海ネットワーク・愛知

「飯館村 / 福島再生支援東海ネットワーク」として活動を始め、以降3年間支援活動を行う。最も深刻な森林汚染の調査を切り口に、森林・農地・家屋周辺の三位一体での汚染除去法の開発、住民との交流と自立支援、健康管理支援などを主な課題として約60回の現地活動を実施している。

松崎和敬（まつざき かずのり） いわきの森に親しむ会・福島

2001年、森との共生をテーマに開催された「うつくしま未来博森のネイチャーツアー&森の学校」のいわき版を作ることと、30～40年前にはどこにでもあった里山を市民の手によって再生して、その里山において市民が安全に気軽に楽しく利用できる仕組みを作ることねらいとし、同年有志によって発足された。2004年にNPO法人化。

(FAX: 03-3868-9536 森づくりフォーラム宛)

【シンポジウム】いま、福島の森林で ～原発被害地域での森林市民活動～

<参加申込書>

ふりがな

TEL

氏名

Eメール

所属

懇親会

参加

・ 不参加

会員

個人会員

団体会員

非会員

コメント(あれば)

※上記のことが記されていれば、Eメール (office@moridukuri.jp 宛) でも参加申込みできます。